

平成23年12月市議会定例会

一 般 質 問 通 告 書

(通告者10名)

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1	1 高齢者ふれあいサロンについて 2 名取市公共交通について	16番 丹野 政喜 (1)高齢者ふれあいサロンの枠を広げて、高齢者ばかりでなく、障がい者、子育てに悩んでいる若い母親など、地域で生活しているすべての人々が交流できる地域のふれあい拠点とすべき。 (2)東日本大震災による影響を、今後の運行計画へどのように反映させていく考えか。 (3)なとりん号における障がい者運賃を無料とすべき。	市 長 市 長 市 長	
2	1 特別職員等の災害補償について 2 農地の復旧について 3 農村地域の環境整備事業について	8番 森 良二 (1)区長や民生委員が公務中被災した場合の対応は、地方公務員災害補償法や労働者災害補償保険法による対応があるが十分ではない。市としても対応を考慮すべき。 (2)交通安全協会・防犯協会の役員の職務遂行中の災害等も対応を考慮すべき。 (3)浸水農地の復旧に、区画変更を同時に行える農用地災害復旧関連区画整理事業を活用することで、農地の再生・復興を目指すべき。 (4)新たに創設される、農地・水保全管理支払交付金事業に取り組むべき。 (5)交付団体が行っている事務処理は複雑過ぎる。単純化を図り、負担軽減を図るべき。	市 長 市 長 市 長 市 長	
3	1 閑上復興のまちづくりと閑上小中学校の今後について 2 名取市公共交通体系について	9番 山田 司郎 (1)市民意向調査の結果をどう受けとめ、復興のまちづくりに反映していくのか。閑上復興まちづくり推進協議会などの場で、次代を担う子育て世代の声をまちづくりに反映できる体制を構築すべき。 (2)現地再建の基本方針が決まったとはいえ、できる限り西側に住みたいという市民の声は根強い。新しい閑上のまちを東部道路まで西に伸ばすことを検討すべき。 (3)学校は現在の小学校の位置より西側に建設すべき。 (4)今後あるべき閑上小中学校の姿を一日も早く示し、閑上中学校は、下増田地区との学区の再編を含めて、適正なあり方について検討すべき。 (5)仮設住宅への入居等により、震災後は移動手段の需要が変化している。なとりん号の運行ルートやダイヤを見直すべきと考えるがどうか。特に名取が丘愛島線は増便すべき。	市 長 市 長 市 長 教育長 市 長 教育長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
		(2)平成22年12月定例会で提言した内容についてどのように検討してきたのか。高齢者の足としてよりきめ細かな対応が可能なデマンド型乗合タクシーへの移行に取り組むべき。	市 長	
4	1 命を守る対策について	20番 星居 敬子 (1)高齢者の命を守るため、肺炎球菌ワクチン接種への助成を行うべき。 (2)子供の虫歯が溶ける問題をどう受けとめ、対策を考えているのか。 (3)仮設住宅の高齢世帯や単身世帯の見守りの現状は。この9カ月を踏まえてどう取り組まれてきたのか。	市 長 市 長 市 長	
	2 災害対策について	(1)台風15号による大雨被害や集中豪雨による被害をどう受けとめているか。 (2)雨水調査の結果はどうだったのか。その結果を踏まえ、計画的に対策に取り組むべき。	市 長 市 長	
	3 市民墓地について	(1)宗教の自由を踏まえ、市民が望む市民墓地を早期に実現すべき。	市 長	
	4 復興対策について	(1)閑上のまちづくりエリア外に一日も早い災害公営住宅の建設計画を進めるべき。	市 長	
5	1 介護保険事業について	10番 菊地 忍 (1)第5期介護保険事業計画の策定について、策定前に地域懇談会を開催し、理解を得られる取り組みを行うべきと考えるがどうか。 (2)第5期の介護保険料の設定について、県の財政安定化基金の取り崩しや市の準備基金の取り崩しなど、保険料の軽減策を図るべきと考えるがどうか。 (3)特別養護老人ホームの需要が高まっている。整備を図るべきと考えるがどうか。	市 長 市 長 市 長	
	2 放射能測定について	(1)茨城県土浦市やつくば市の調整池で高い放射線量が測定された。本市の調整池周辺住民からも不安の声が上がっている。市として測定を実施すべきと考えるがどうか。	市 長	
	3 投票率の向上について	(1)今回の宮城県議会議員一般選挙の投票率について、選挙管理委員会としての見解とそれを踏まえた今後の改善策は。 (2)仮設住宅集会所を投票所として利用するべきと考えるがどうか。	選挙管理委員会委員長 選挙管理委員会委員長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
6	<p>1 ごみ最終処分場問題について</p> <p>2 復興まちづくりについて</p> <p>3 図書館の整備について</p>	<p style="text-align: right;">1番 板橋 美保</p> <p>(1)名取クリーンセンターの現状についてどう考えているのか。 (2)ごみ最終処分場の建設について、進捗状況はどうなっているのか。 (3)ごみ最終処分場を早い時期に建設すべき。</p> <p>(1)市民の思いを込めた震災復興記念館をつくるべき。</p> <p>(1)新たな図書館の建設を早期に実現すべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	
7	<p>1 震災復興計画について</p> <p>2 宮城県農業高等学校生徒の通学路の安全確保について</p> <p>3 増田川上流の土石撤去について</p> <p>4 選挙ポスター掲示箇所の削減について</p> <p>5 選挙投票率の向上について</p>	<p style="text-align: right;">4番 長南 良彦</p> <p>(1)震災復興市民100人会議や地域懇談会、パブリックコメント等を通じて被災住民の復旧・復興に向けた意向調査が実施され、その結果がホームページで公表されたが、広報等の紙面で広く市民に公表し、理解と協力のもとで早期実現に努めるべき。 (2)下増田地区の集団移転は、被災者の意向を十分に受け入れ早めに候補地を決定し、希望を持った生活が一日も早く実現できるよう努めるべき。</p> <p>(1)名取駅から高舘川上地区にある仮設校舎までの通学路（川上田高線）は、名取二中前より西側約600メートルにわたり道路に街灯もなく大変危険である。震災で道路状況も悪い上自転車通学も多いことから、街灯等を設置し、交通事故及び犯罪の防止により生徒の安全を確保すべき。</p> <p>(1)平成23年9月21日の台風15号の豪雨により、樽水ダム上流の増田川と支流の田高沢川が大量の土石で埋め尽くされている。管理は県の管轄であるが、地域住民の安全を守る観点から早期に調査を実施し、来年の台風シーズン前に改修等を要望すべき。</p> <p>(1)11月に実施された名取市議会議員補欠選挙時では155カ所、場所によっては一路線で100メートルほどの距離のところもあるため、見直しを図り選挙費用の大幅な公費削減を図るべき。</p> <p>(1)11月に実施された宮城県議会議員一般選挙では、仮設住宅入居者で閑上に住所のある方の投票所が市役所となったが、交通の便が悪い上高齢者も多いため、平成24年1月予定の名取市議会議員一般選挙の投票は、仮設住宅ごとに実施または投票所までの送迎バスを活用することにより投票率の向上を図るべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>選挙管理委員会委員長</p> <p>選挙管理委員会委員長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者	備 考
	2 震災復興計画について	<p>(2)名取市の基幹産業である農業が大きなダメージを受けることが想定され、その対応を考えておくべきと思うがどうか。</p> <p>(1)仮設住宅入居年数が2年とされているが、その後の延長についてどのようになるのか。</p> <p>(2)災害公営住宅の建設計画を早急に示し、着手すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3)震災復興計画に東西線の避難道路計画を示し、復興のまちづくり計画と同時に進めるべきと考えるがどうか。</p>	市 長 市 長 市 長 市 長	
	3 ごみ処理施設問題に係る地域対策について	<p>(1)愛島地区への還元策について、進捗状況を伺う。</p> <p>(2)名取クリーンセンターが平成24年までの稼働となっているが、その計画で良いのか伺う。</p>	市 長 市 長	